

記者発表資料



開通6ヶ月後の整備効果をお知らせします ～国道246号 山北バイパス(向原地区)～

平成24年12月20日に開通した山北バイパス(向原地区)の開通6ヶ月後の交通状況と整備効果をお知らせします。

■整備効果

①国道246号(現道)の交通量が大幅に減少しました

- 山北バイパス整備後の国道246号(現道)の交通量は、22,180台/日から3,580台/日に減少(84%減少)。このうち、大型車は240台/日で97%減少しました。
- 山北バイパスの整備により、現道を走行する自動車が増え、沿道環境の改善が進んでいます。

②走行速度・通過時間が短縮しました

- 国道246号(現道)の朝7時台の通過速度は17.8km/hから42.2km/hへ向上し、通過時間が2分短縮しました。

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ 神奈川建設記者会 神奈川県政記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省関東地方整備局 横浜国道事務所

副所長 松山 隆雄

電話 045-311-2981 (代表)

調査課長 今津 洋

①国道246号(現道)の交通量が大幅に減少

〈山北バイパス(向原地区)の事業概要〉

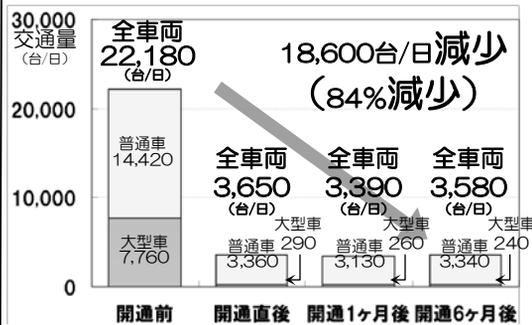
神奈川県足柄上郡山北町を通過する国道246号(現道)は、幅員が狭小で見通しが悪く、歩道が未整備の危険な道路でした。

山北バイパスの整備により、現道を走行する自動車が転換し、沿道環境の改善が進んでいます。

- 山北バイパス(向原地区)の交通量は18,640台/日。そのうち、大型車は6,900台/日です。
- 山北バイパス整備後の現道の交通量は、22,180台/日から3,580台/日に減少。このうち、大型車は240台/日で97%減少しました。

■国道246号(現道)と山北バイパス(向原地区)の交通量

■国道246号(現道)の交通量



写真①：開通前の現道の様子



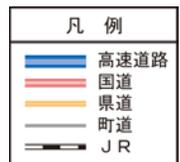
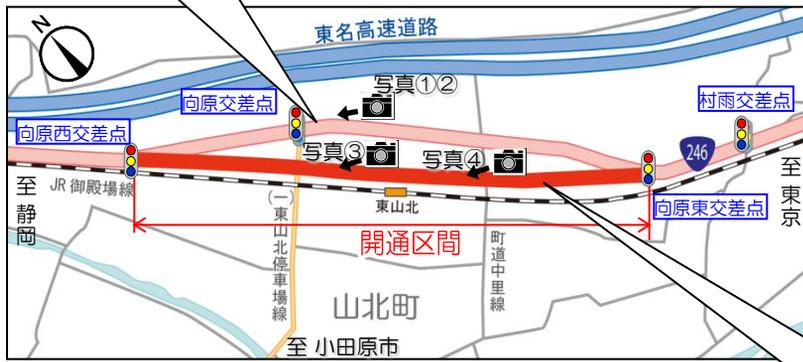
平成24年6月29日7時頃撮影

写真②：開通6ヶ月後の現道の様子



平成25年6月27日7時頃撮影

位置図



■山北バイパス(向原地区)の交通量



写真③④：開通6ヶ月後のバイパスの様子



平成25年6月27日7時頃撮影



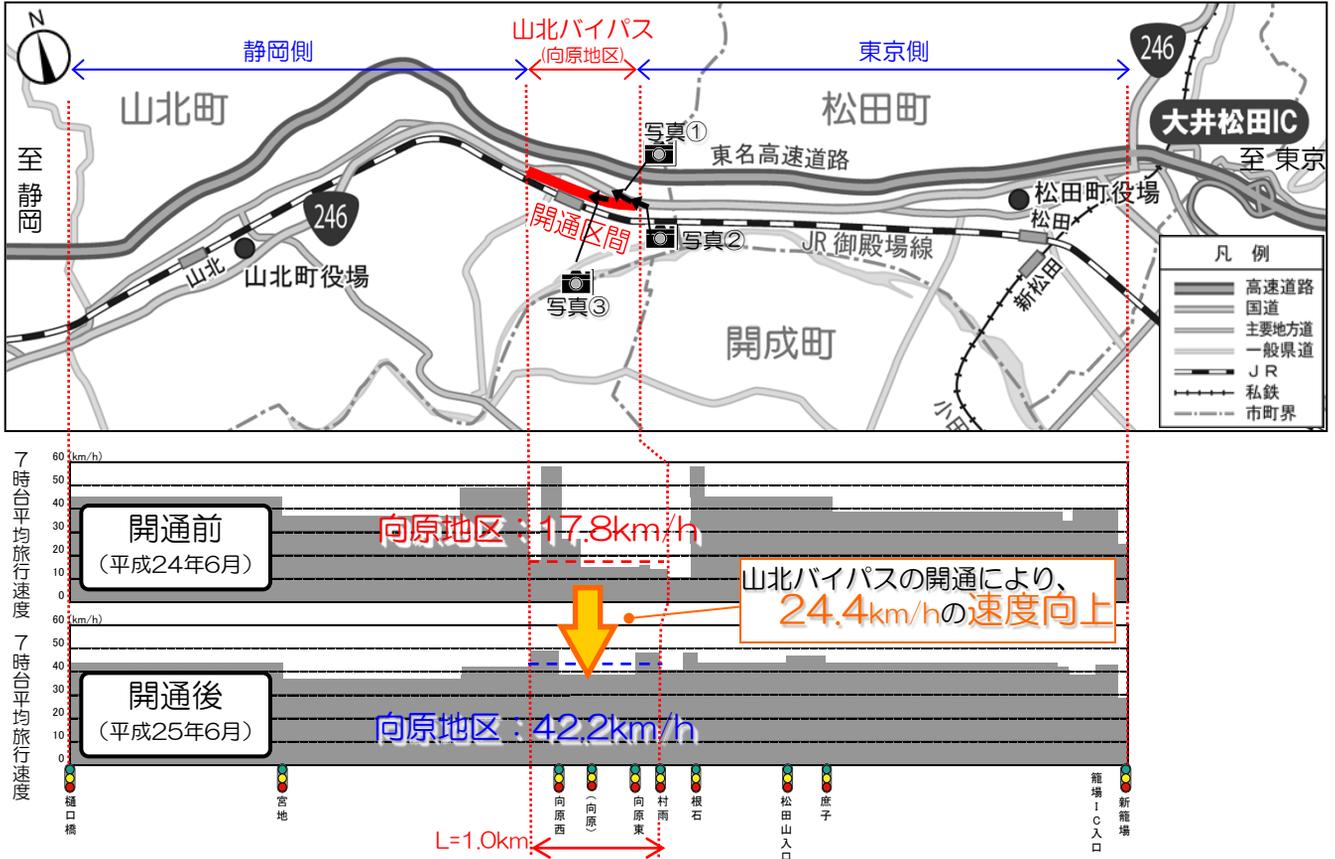
- 調査日・開通前：平成24年 6月28日(木) 7時～ 29日(金) 7時(24時間)
- ・開通後：平成24年12月20日(木) 16時～ 21日(金) 16時(24時間)
- ・開通1ヶ月後：平成25年 1月24日(木) 7時～ 25日(金) 7時(24時間)
- ・開通6ヶ月後：平成25年 6月27日(木) 7時～ 28日(金) 7時(24時間)

※交通量は10台単位で四捨五入した値

② 走行速度の向上・通過時間の短縮

- 山北バイパスの整備により、渋滞の解消や線形改良・幅員確保がされたことで、向原地区の朝7時台の走行速度は開通前の17.8km/hから開通後は42.2km/hへと24.4km/h向上しました。

■国道246号（現道）と山北バイパス（向原地区）の走行速度



向原地区での走行状況



↑写真①：
現道での渋滞による速度低下
平成24年6月28日7時頃撮影

↓写真②：
線形不良区間での急ブレーキ
平成24年6月28日18時頃撮影



写真③：
現道の渋滞が緩和（開通6ヶ月後の様子）
平成25年6月27日7時頃撮影

- 調査日・開通前 : 平成24年 6月28日 (木) 7時~19時 (12時間)
 - 開通6ヶ月後 : 平成25年 6月27日 (木) 7時~19時 (12時間)
- ※走行速度、通過時間は、7時台の静岡方面の観測値

山北バイパス(向原地区) 事業概要

〇概要

国道246号は、東京都千代田区から神奈川県内の内陸部を横断し、静岡県沼津市に至る延長約120kmの主要幹線道路です。

山北バイパス(向原地区)は、狭小幅員区間及び線形不良区間の解消を目的とした延長1.0kmのバイパス事業です。

